

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9  
TEL: 03-3259-3111(代表)  
www.ms-ins.com

2019年10月7日

～事故のない快適なモビリティ社会の実現に向けて～

**ドライブレコーダー・テレマティクスサービス『Fードラ』の開発について**

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：原典之）は、企業の安全運転を支援するため、ドライブレコーダー・テレマティクスサービス『Fードラ』を開発し、2020年1月より、当社フリート契約者向けに有償でサービスの提供を開始します。

『Fードラ』は、株式会社JVCケンウッド（社長執行役員 CEO：江口 祥一郎）と共同開発した当社専用ドライブレコーダーと、業界初のインカメラを活用し、事故・緊急時のサポートに加え、企業の事故防止や運行管理をサポートするサービスです。事故や緊急時に一定以上の衝撃を検知すると、「専用安否確認デスク」に自動通報するほか、ドライバーの危険運転挙動を検知し、アラートを発信するため、重大事故の未然防止につながります。また、『Fードラ』の活用により、企業の運行管理者は、危険運転挙動に基づく効果的な安全運転指導・教育や、効率的な運行管理が可能となります。

三井住友海上は、今後も、新たな商品・サービスの提供を通じて、事故のない快適なモビリティ社会の実現に貢献していきます。

**1. 『Fードラ』の特徴****(1) インカメラによる「顔認証」機能**

インカメラ搭載の車両にドライバーが搭乗すると、インカメラにより自動で顔認証\*を実施します。これにより、「車」単位ではなく、「ドライバー」単位の運転傾向等を把握することができるため、企業の管理者はより効果的な安全運転取組や運行状況の把握が可能になります。

※インカメラを利用されない場合は、ドライバーポータルサイト上の認証機能を利用することができます。また、顔認証機能の利用には、事前にドライバーの「顔登録」が必要です。

**(2) 運転力診断、分析、教育機能**

「ドライバー」単位で運転力診断を実施できるため、企業内で相対的な運転力を評価できます。また、急加速、急減速、急ハンドル等に加え、インカメラを活用することで、居眠り、わき見、走行中の携帯電話の使用等、危険な運転の検知数も把握できるため、ドライバーへ具体的なアドバイスが可能となります。

検知した危険運転挙動は、Fードラポータルサイト上から動画で視聴\*できるほか、オリジナル教育動画の作成機能により、実際の映像を用いた社内教育が可能となります。

※Fードラポータルサイト上で視聴できる動画は、1回の運転で急加速、急減速、急ハンドル等で最も危険な運転挙動を1つ、居眠り、わき見、走行中の携帯電話の使用は最後に検知したものを選んで送信する予定です。



上記イラストはイメージ図のため、実際の画面とは異なります。

**(3) 運行管理機能**

一般事業者向けの運行管理機能も有しており、専用ドライブレコーダーのGPS機能により、現在地チェック、走行ルート、危険運転挙動の発生地、発着時間等をお客さま専用ポータルから確認できます。本機能は、車の運行管理業務における効率化等の検討が可能となるため、企業の働き方改革にも活用いただけます。



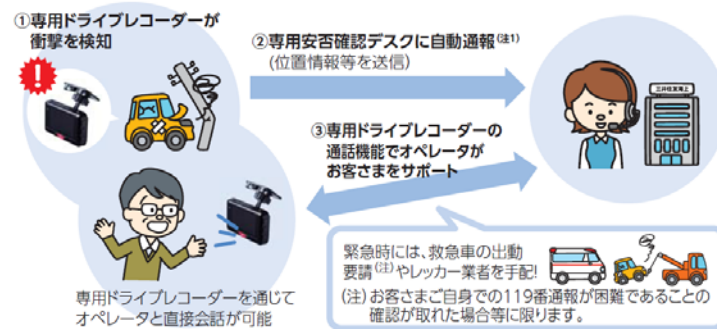
上記イラストはイメージ図のため、実際の画面とは異なります。

#### (4) 事故緊急通報機能

2019年1月に発売した当社の「GK 見守るクルマの保険（ドラレコ型）」と同様に、専用ドライブレコーダーが一定以上の衝撃を検知すると「専用安否確認デスク」に自動で通報され、専任のオペレータと通話することができます。専用安否確認デスクでは、事故の初期対応等のアドバイスや、必要に応じてロードサービスの手配※<sup>1</sup>、救急車の出動要請※<sup>2</sup>を行います。また、「専用安否確認デスク」の対応結果はFドラポータルサイト上に登録されている企業の管理者にメールで通知されます。

※1：ロードサービス費用特約がセットされた契約に限ります。

※2：お客さまご自身での119番通報が困難であることの確認が取れた場合等に限ります。



#### 2. サービス提供開始予定時期

2020年1月から、本サービスの提供を開始します。

#### 3. サービス提供価格

以下の2つのプランから選択できます。

- (1) スタンダードプラン（インカメラ有）：自動車1台1,500円（税抜）／月
- (2) シンプルプラン（インカメラ無）：自動車1台1,300円（税抜）／月



#### 4. サービス開発の背景

昨今、「ながら運転」や「あおり運転」をはじめとした自動車の危険運転が社会問題となっています。また、政府は12月からスマートフォン等を使用しながら車を運転する「ながら運転」の罰則強化を図る道路交通法の改正を予定しており、企業でも事故防止や運行管理を目的として、ドライブレコーダーを導入したいというニーズが高まっています。

こうした環境を踏まえ、当社は、2019年1月から発売している「GK 見守るクルマの保険（ドラレコ型）」で採用しているドライブレコーダーに、業界初となるインカメラを搭載し、「ドライバー」単位の運転傾向や運行管理を把握でき、高いレベルで企業の安全運転取組をサポートする本サービスを開発しました。

### 持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)

持続可能な開発目標(SDGs)は、2015年9月の国連サミットで採択されました。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けた、2030年を年限とする17の国際目標です。

MS & ADインシュアランス グループは、SDGsを道しるべとして、社会との共通価値の創造(GSV: Creating Shared Value)に取り組み、7つの重点課題のひとつである「事故のない快適なモビリティ社会を作る」ことを推進しています。



以上